

# 感謝の年頭

中日新聞 令和4年1月1日号より転載

# 中日会報

公益社団法人 中部日本書道会  
編集事務局 名古屋市中区  
〒450-0002 名古屋市中区  
中村区名駅二丁目45-19 室番  
桑山ビル8階 C000番  
FAX (583) 1910  
http://www.cn-sho.or.jp  
info@cn-sho.or.jp  
印刷 株式会社 荒川印刷

## 新年のご挨拶

### 名誉会長 海部俊樹



会員の皆さん、明けましておめでとうございます。皆さんはどのような新年を迎えようか。幸いにも私は心穏やかな新年を迎えることができました。本年が皆さんにとって安らかな良き年となることを願っております。

さて、ご承知の通り、ここに二年に及ぶ新型コロナウイルスの感染状況が昨年末に大幅に改善されて社会生活に活気が戻りつつあります。様々な面で献身的な努力がされてきた証であることは疑いのないところであります。しかしながらまだまだ予断は許しません。更に気を引き締めていくべきでしょう。また、昨秋にはコロナ下で総選挙が行われ、新しい指導者、岸田総理の元で体制が整いました。新型コロナウイルスによって打撃を被った経済・医療はもろろんこと、温暖化による環境問題や、日本を取り巻く外交の問題など課題は多

方面にわたって山積しています。政府にはより一層の努力が求められています。私も第一線を退いた身ではありますが、注視していく所存です。ところで、昨年十月十五日に文化審議会が、改正文化財保護法で新設した登録文化財に「書道」と「伝統的造り」を登録するよう文部科学相に答申しました。これは無形の文化財を保護し継承を後押しするものです。書道については、漢字の伝来ののち、中国の優れた書から技法を吸収して日本独特の表現である仮名書道を生みだし、のち広く生活に浸透し、歴史上の意義があり、芸術上での価値が高いと評価されたものであります。世界に誇る伝統文化である書道が登録無形文化財とされることは大変意義深いものであるとともに、ユネスコの無形文化遺産登録を目指す私たちにとつても明るい材料であります。こうしたことを踏まえ、まして中部日本書道会の諸事業の取り組みは大変重要であると考えます。どうか会員のみなさん、伊藤仙遊理事率いる執行部・役員諸氏と力を合わせて、書のすばらしさを広く発信し、特に若い世代に対してもアピールをし、より一層書道の発展に寄与していただきたいと願っております。

## 目次

- 1 海部俊樹名誉会長「新年のご挨拶」  
樽本樹郎名誉会長代行揮毫  
伊藤仙遊理事「新年のご挨拶」  
鬼頭翔雲名誉副会長「年頭所感」  
伊藤昌石先生愛知県教育文化功労者表彰  
令和三年度 書の匠展 第三十回記念  
壽書展  
第三十三回 書道教育研修会
- 2 関根玉振先生を偲ぶ  
令和三年度 第二十五回 書の魅力 公開講座  
第八回日展入賞・入選者  
第七十一回中日書道展出品案内  
第七十二回中日書道展作品展不会場および会期  
二〇二二年チャリティ愛の募金  
募金参加者ご芳名
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8

### 理事長 伊藤仙遊



新年あけましておめでとうございます。会員の皆様には令和四年・壬寅（みずのえ）とら・じんいん）の新年を、お健やかに迎えることと心から御慶び申し上げます。壬寅は「陽氣を孕み、春の胎動を助ける」との意味があり、「冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年になってゆく」という事に繋がるとのことです。

一昨年の年初から続くコロナウイルス感染症は、まだまだ終息に至らずまさに厳しい冬の時期でありました。昨年に入りコロナ禍が少しずつ落ち着きはじめ、第七十回記念中日書道展を審査員・審査部委員を極力減じ、感染症対策を万全に行い開催できましたこと、樽本樹郎名誉会長代行はじめ役員の方のご協力ご尽力の賜物と心から感謝申し上げます。コロナウイルスの影響はまだ続いており、花咲き鳥歌い陽光差し込む春の

日は到来しませんが、春への胎動を示す事ができたのではと感じております。こうした冬の時代にこそ、本質的な実力を養い何事にも好奇心をもって、前向きに進めることが大切です。私たち事務局一同、今後とも懸命に努めますので、何卒宜しくお願い申し上げます。  
来年度の事業は極力例年の如く復活し、進めてまいりたいと存じております。第七一回中日書道展では特別展観も計画しておりますので、皆様方のご協力ご支援を切にお願い申し上げます。  
またこの度「書道」が酒造りと共に、わが国初の「登録無形文化財」に登録されます。これは書道界にとつての春の胎動であり、これを契機に書道界に大きな潮流が生じ、華々しい春が訪れますことを期待しております。  
最後になり、また新年のご挨拶には不適切かも知れませんが、前理事長関根玉振先生のご逝去は、私たち事務局一同にとりまして大変衝撃的であり、また今後のご活躍が期待されるこの時に、本当に残念でなりません。先生の笑顔と大きなお声を思い出します。関根玉振先生のご冥福を心からお祈り申し上げて、稿を閉じたいと存じます。

海部俊樹名誉会長におかれましては一月九日（日）にご逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。なお、上記のご挨拶につきましては、昨年末にご寄稿頂いたものです。

名誉副会長 鬼頭翔雲先生 年頭所感 (新聞掲載)



謹んで新年のご慶びを申し上げます。

更なる書文化発展の為に

公益社団法人 中部日本書道会

名誉副会長 鬼頭翔雲

この二年、コロナ禍により私ども中日書道会の活動も制約を受けてまいりました。

道展を昨年、コロナ対策を充分実施した上で第七十回記念展を開催しました。その中で本会を代表する皆さんが「令和を拓く大作展」と銘打って意気込みを込めて取り組んでまいりました。二〇二二年が輝かしい年になりますことを願うと共に更なる書文化発展の為に尽くしてまいります。

中日新聞 令和 4 年 1 月 1 日号より転載

本会名誉会長代行

樽本樹邨先生

第六十六回

現代書道二十人展 ご出品

会期 令和四年一月二十二日(土)〜一月三十日(日)  
会場 松坂屋美術館(松坂屋本店南館七階)

令和三年度 理事会・評議員会 講演会

〈予定〉

日時 令和四年二月六日(日)  
場所 名古屋観光ホテル

第四回理事会 十四時より  
第一回評議員会(報告会) 十五時三十分より

講演会 十六時三十分より

講師 名古屋芸術大学教授  
長谷川喜久氏

演題 「現代日本画と制作活動」



表彰式風景



常任顧問 伊藤昌石先生

第七十三回 愛知県教育文化功労者表彰

受賞理由

多年、書家として精進を重ね、幾多の秀作を発表するとともに、後進の指導育成に尽力し、文化の振興に貢献した。

(愛知県表彰・教育文化功労者功績内容より引用)



ご受賞の賞状



令和三年度書の匠展  
・第三十回記念 壽書展

第二回書の匠展・第三十回記念壽書展を終えて

第二事業部長 馬場 紀行

書・少字数・篆刻と本会の持ち味でもある五部門の作品が一堂に並び、プロの切れ味鋭い作品から愛好家の自由闊達な作品まで多種多様、幅の広い作品を広く鑑賞して頂けたと思う。書は眼と手と



販わう書の匠展



壽展会場風景

令和三(二〇二二)年十一月九日から十四日まで電気文化会館にて開催した本展は、東海三県下でも新型コロナウイルス感染症が激減したものの来場者には十分な配慮をして臨んだ。書の匠展は、本会名誉会長・名誉会長代行・名誉副会長・常任顧問・顧問・理事・監事の熟達した七十九点を展覧。また、七十歳以上の本会参与・評議員・正会員・準会員と会員外を対象とした壽書展は、三十回目の節目を迎え、百三十五点を展覧した。内容は漢字・かな・近代詩文

頭を使い、音の発しない静かに学べる芸術であり生涯学習には最適である。更に書いた作品が展覧されるということで緊張感とワクワク感が増し、長年にわたり書を親しんでおられる方にも絶好の機会で公益性の有る催事であったと認識する。入場者も六〇一人を数え、その役割を果たした。付記として壽書展は記念展であったので、飛騨高山森林組合作製の木製写真立てと出品作品のプロマイドを出品者全員に配布し好評であった。

第三十三回 書道教育研修会

第二教育部長 川崎 尚麗



岡野楠亭副理事長 書道講話



かな講座 水野峯翠先生



漢字講座 柘英峰先生

令和三年十月十七日(日)、名古屋国際センター五階、第一会議室において行なわれました。開会挨拶を本会理事長伊藤仙游先生に頂き、副理事長岡野楠亭先生に書道講話、書作品における落款についてと題して、必要性を詳しくお教え下さいました。午前部は、かなの水野峯翠先生により、半切半、半懐紙、色紙のお手本を用意いただき、墨、筆の持ち方、二×八尺の横を揮毫され、それぞれ添削してして下さいました。午後からは、柘英峰先生、「北魏楷書」を学ぶ張孟龍碑について時代背景、線、運

筆について説明、お手本四枚、運筆の図解と実際に書き、一人一人の席を回って添削していただきました。又、本会より紙を皆様に提供、皆様一生懸命練習される姿は、開催出来たことを嬉しく思い、コロナ禍の中、いつもの半分の三十五名の定員で行なわれました。この様な中無事終える事が出来ましたのは、先生方、会員の皆様のおかげと感謝しております。最後に修了証をいただき、今後の書道普及、発展に繋げることが出来ることと願います。

# 前理事長・常任顧問 関根玉振先生を偲ぶ

横井 宏 軒



前理事長の関根玉振先生が、令和三年十一月九日にご逝去されました。

関根先生は、平成二十九年六月から令和元年六月迄理事長を務められ、現在は常任顧問の要職についておられました。平成十五年に理事、平成二十三年から副理事長、平成二十七年からは副理事長兼事務局長を務められ、事務局におきましても、事務局長、事業部長、庶務部長等を務められました。

中日書道会には十代から五十数年の長きに渡り会の活動に寄与され、要職にも携われて会の管理運営・各種事業運営等、中日書道会の発展に大きく貢献されました。

全国書道展におきましてもご活躍さ

改組 新 第二回日展 特選(二回目受賞) 黄庭堅詩



れ、日展では第四十五回および新第二回におきまして特選をご受賞されました。その他の書道展におきましても多くの賞を受賞されてきました。関根先生は、篆書・隸書・行草・楷書など幅広く多くの書体を研究され卓越した作品を数多く発表されてい

ました。常に好奇心旺盛でいろいろなことに積極的に前向きに取り組みられ行動され、厳しい面を見せながらもあたたかみのある指導やご配慮をされ、後進の指導育成にも力を尽くされました。また、多くの方々といつもにこやかな笑顔で気軽に歓談されていたことが思い出されます。もはやお目にかかれないのは非常に寂しい限りですが、今までの貢献及びご指導に感謝しつつ関根玉振先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

# 令和三年度 第二十五回 書の魅力 公開講座

## 令和三年度 公開講座を開催して

研究部長 廣澤 凌 舟

十一月十四日(日)名古屋電気文化会館 イベントホールに於いて「第二十五回公開講座」が講師に顧問の片山清洲先生と理事の武内峰敏先生をお迎えして開催致しました。十分な感染対策を講じた上で、六十七名の参加者のもと始まりました。

品づくり」と題し、漢字の書を作成する上での手順をお話しされました。ご自身で集字された資料や先生の作品をお使いになられ、作品全体をどのように構成するのか、見せ場を作るかを分かりやすくご解説下さいました。

今回はお二方共に作品づくりのお話となりました。片山先生は「古典を踏まえた作

武内先生は「書の創作要訣」と題し、近代詩文書を作成する上での、金子鷗亭先生の二十章を元に、先生ご自身のお考えをお話し下さいました。金子先生の作品複製プレゼントには受講者皆大変喜ばれていました。

本年度もとても有意義な講座となりましたこと、片山清洲先生、武内峰敏先生に厚く御礼申し上げます。(文責 大場敏充)



片山清洲先生



武内峰敏先生



第八回 日展 入賞・入選者

第八回日展特選を受賞して



馬場 紀行

この度第八回日展におきまして、二十六回目... 師事したお二人の先生から「書の基礎と書道界」を、現在の師である黒田賢一先生から「書は人なり」を学ばせて頂き、三先生の崇高なる薫陶を頂戴出来た事は感謝の何物でも有りません。今展の作品テーマは遠近と立体... 紅葉広がる秋の白川郷の情景を想起しながらの二×八尺大字仮名一首。それは「白川三部作」と銘打って六月の中日書道展六×八尺大作、八月の読売書法展調和体、そして日展と歌が身体に馴染むまで書き込む事でした。母春霞が亡くなり十八年が過ぎ、華々しかった書道界も様変わりしてきました。しかし、いつの時代も書の魅力は計り知れないものがあり、この楽しさを後世に繋がらせる義務が我々にあると念じます。



特選 白川の(自詠)

〈特選〉

馬場 紀行

〈入選〉

愛知県

家田 馨子

水野 美保子

堀部 保子

加藤 紫雲

鈴木 香鵬

○稲垣 輝彩

小島 瑞柳

柘野 英峰

水野 佑華

若杉 美香

板倉 恵子

小野田 景月

衣川 彰人

久米 雪葉

清木 美智子

畑 裕子

服部 美枝子

三橋 紅月

水野 峯翠

梶山 盛涛

山際 雲峰

横井 宏軒

今田 昌宏

鎌倉 雅代

高橋 秀箭

片岡 秋華

岩瀬 臘月

石黒 直子

松 下英風

○岡田 麗峰

齋藤 禹月

神谷 緑泉

村瀬 俊彦

下村 汀柳

本間 翠眉

神谷 采邑

八木 敬子

波切 童州

大池 青岑

田中 石雲

片山 清洲

坂 九瑠

大木 青嵐

加藤 博子

近藤 青洩

戸田 青楓

星野 蘭雪

足立 麗華

高木 紅舟

寺尾 桑林

天野 月清

寺本 陽春

宮田 洋美

清水 春蘭

塚田 俊可

浅井 祥舟

伊藤 小游

早川 修

吉澤 有岐子

長屋 天虹

小島 岐香

○鈴木 姫泉

荒木 敬子

荒木 友梅

岡野 敬子

高橋 華堂

山本 雅月

津田 壽美

佐久美 泉涯

大嶋 由美子

埼玉県

遠藤 栄久

静岡県

小野 蹊泉

兵庫県

南條 佳園

〔○印は初入選〕

※掲載のお名前は日展ホームページ発表での名簿順となります



# 第七十一回 中日書道展 出品案内

## 一、会場・会期

▼愛知県芸術文化センター 依嘱以上の役員(第一～五部全作品)・

▼愛知県美術館ギャラリー

無鑑査受賞作品(中日賞・桜花賞)を含む

▼名古屋市民ギャラリー栄

無鑑査作品(第一～五部)(中日賞・桜花賞を除く)

▼名古屋博物館

一科作品  
二科作品

特別展観「書の源流」——拓本に見るその姿——	第七十二回中日書きぞめ展 上位作品(一〇四点予定)を展示	米寿の役員作品と米寿の一科・二科の作品は愛知県美術館ギャラリー8Fに展示します。又、
令和四年六月十五日(水)	令和四年六月十四日(火)	令和四年六月十六日(木)
〃六月十九日(日)	〃六月十九日(日)	〃六月十九日(日)
〃六月二十六日(日)	〃六月二十六日(日)	

●愛知県美術館ギャラリー

特別展観「書の源流」——拓本に見るその姿——

第七十二回中日書きぞめ展 上位作品(一〇四点予定)を展示

※御長寿作品(米寿)の展示について

米寿の役員作品と米寿の一科・二科の作品は愛知県美術館ギャラリー8Fに展示します。又、

二科の作品は名古屋博物館の二科の会期にて再度展示します。

※無鑑査の受賞作品(中日賞・桜花賞)はすべて愛知県美術館ギャラリー8Fに展示します。

## 一、出品部門

- 第一部 漢 字
- 第二部 かな
- 第三部 近代詩文
- 第四部 少字数
- 第五部 篆刻・刻字

## 一、出品資格

十五歳以上(平成十九年四月一日生まれ以前)の者とする。(但し十五歳から二十一歳までの者〔平成十二年四月二日生まれから平成十九年四月一日生まれまで〕は証明書〔免許証、学生証、保険証等のコピー〕を提出する。)(ホチキスでは止めないで下さい)

## 一、出品点数

出品は一人一点とし、二部門にわたる出品は認めない。

## 一、出品寸法

各資格の出品規程に記載する作品寸法とする。

## 一、出品料

各資格の出品規程に記載の出品料とする。

## 一、年会費

正会員の年会費は、本年度出品、不出品にかかわらず納入するものとする。

## 一、資格喪失

一科・展覧会役員で二年連続不出品の場合はその資格を失うものとする。

(止むを得ない事情で出品できない時は、その旨本部へ書類を提出すること)

## 一、授賞式

令和四年六月十九日(日) 名古屋観光ホテル 午後三時半より(予定)

## 一、祝賀会

令和四年六月十九日(日) 名古屋観光ホテル 午後六時より(予定)

## 一、入場料

三〇〇円(小・中・高校生は無料)、資格証により入場できる。

## 一、書類搬入等

書類搬入はすべて取扱店がいたしますので、出品者は事前に取扱店へ出品票、出品料、協賛費などご提出下さい。締切りは四月十五日(金)までとさせていただきます。

中日書道展出品の全作品は、整理の都合上取扱店に委託する事とし、個人による書類搬入、作品搬入、搬出は認めませんので、ご注意下さい。

※正会員(展覧会役員及び一科会員)の年会費も、取扱店へ委託し、書類搬入時に納入していただきます。

## 一、その他

ご不明な点は二月末にお届けします出品規定・事務分掌でご確認下さい。

# 第七十一回 中日書道展作品展示会場および会期

※1 御長寿作品（米寿）の展示について—米寿の役員の作品（無鑑査漢字部を含む）と米寿の一科・二科の作品は愛知県美術館ギャラリー8Fに展示します。

又、二科の作品は名古屋市博物館の二科の会期にて再度展示します。

※2 無鑑査の受賞作品（中日賞・桜花賞）はすべて愛知県美術館ギャラリー8Fに展示します。

二科	一科	無鑑査	審査顧問 特別出品 一科審査会員 二科審査会員 依頼
一〇五部 全作品	一〇五部 全作品	一〇五部 受賞作品（中日賞・桜花賞）は愛知県美術館ギャラリー8Fへ	一〇五部 全作品
名古屋市博物館	名古屋市博物館	※2 名古屋市ギャラリー栄8F	愛知芸術文化センター 愛知県美術館ギャラリー ※1・2 8F
10:00~17:00 ※最終日は15:00まで	10:00~17:00	10:00~18:00 ※最終日は16:30まで	10:00~18:00 今回より金曜日も10:00~18:00 ※最終日は16:00まで
6/14 (火)			6/14 (火)
15 (水)			15 (水)
16 (木)			16 (木)
17 (金)			17 (金)
18 (土)			18 (土)
19 (日)			19 (日)
20 (月)			20 (月)
21 (火)			21 (火)
22 (水)			22 (水)
23 (木)			23 (木)
24 (金)			24 (金)
25 (土)			25 (土)
26 (日)			26 (日)

会員の皆様の温かいお心に感謝いたします。

# 2021年 チャリティー愛の募金

中日新聞社会事業団に150万 寄託  
東海テレビ福祉文化事業団に100万 寄託  
各支部より各県の中日新聞經由にて 80万 寄託



中部日本書道会(名古屋  
市)は6日、「年末助け合  
い運動に」と、150万円  
を中日新聞社会事業団に寄  
託した。愛知、岐阜、三重  
県の会員約4000人から  
寄せられた善意。伊藤仙游  
理事長(写真左から2人目  
)らが、同事業団に届けた。

中日新聞 2021.12.7(火)

## 募金参加者ご芳名

岡野 楠亭	伊藤 仙游	鬼頭 翔雲	安藤 滴水	樽本 樹邨
大木 青嵐	大池 青岑	磯谷 凄聰	松下 英風	加藤 裕
高木 玄齋	鈴木 立齋	佐野 翠峰	川崎 尚麗	加藤 矢舟
		後藤 啓太	工藤 俊朴	

- |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 松永 清石 | 平松 紫雲 | 早川 泰山 | 中林 露風 | 土屋 陽山 | 関根 玉振 | 近藤 浩乎 | 後藤 汀鶯 | 黒田 玄夏 | 加藤 子華 | 梶山 夏舟 | 伊藤 昌石 | 安藤 秀川 | 村上 史麗 | 水野 峯翠 | 遠藤 栄久 | 横井 宏軒 | 山本 雅月 | 山中 桂山 | 山際 雲峰 | 村瀬 俊彦 | 古川 昇史 | 廣澤 凌舟 | 原田 凍谷 | 馬場 紀行 | 波切 童州 | 中林 景  | 柘 英峰  | 武内 峰敏 |       |
| 森 清暉  | 村田 華穂 | 水谷 海越 | 三神 榮軒 | 松浦 華苑 | 堀場 凶南 | 平田 蘭石 | 長谷部青徑 | 丹羽 常見 | 中村 立強 | 中野 秀峰 | 中野 玉英 | 中島 龍溪 | 富田 榮楽 | 坪井 景照 | 津田 秋月 | 田中 白雲 | 武山 翠屋 | 佐々木崑邦 | 近藤 素光 | 権田 穂園 | 倉重 拜石 | 木俣 紫香 | 木戸 竹葉 | 片山 清洲 | 落合 深淵 | 上田 賦草 | 今井 仙童 | 井野 吟紅 | 伊藤 曉嶺 |
| 浅井 明奈 | 浅井 禎香 | 浅井 祥舟 | 浅井 紫泉 | 浅井 紅鶴 | 浅井 径桜 | 秋松 秀玲 | 赤堀 正風 | 青山 華塘 | 青木 芳翠 | 青木 美雲 | 青木 渚香 | 青木 榮俊 | 相川 千涯 | 山下 和芳 | 築瀬 舟香 | 本間 翠眉 | 藤本 鷗舟 | 稗田 美苑 | 高木 曾水 | 鈴木 瑞象 | 杉坂 育子 | 杉江 秀城 | 柴田 秋水 | 加藤 松翠 | 片岡 秋華 | 横山 夕葉 | 山内 江鶴 |       |       |
| 石井 瑞鶴 | 石井 照葉 | 石井 小湖 | 伊佐治祥雲 | 井口 方燕 | 生田 浪華 | 猪飼 閑雲 | 飯田 瑤華 | 安藤 太起 | 安藤 蘇道 | 安藤 静歩 | 安藤 清香 | 安藤 佳舟 | 栗田 江泉 | 荒木 素園 | 荒木 泉蓉 | 荒川 璃華 | 荒川 清香 | 荒川 惠風 | 天野 月祥 | 安部 欽子 | 阿部 牧香 | 阿部 秀峰 | 阿部 舟花 | 足立 麗華 | 安達 柏亭 | 朝比奈祥鳳 | 浅野 芳柳 | 浅野 多鶴 | 浅野 春陽 |
| 伊藤 紅樹 | 伊藤 玄圃 | 伊藤 谿石 | 伊藤 吟雪 | 伊藤 玉冰 | 伊藤 恭子 | 伊藤 杏華 | 伊藤 和代 | 伊藤 綾華 | 市川 嶺華 | 市川 恵一 | 磯貝 弘子 | 泉 好子  | 石本 麗水 | 石原 聲風 | 石原 清至 | 石原 松扇 | 石原 春香 | 石塚美根子 | 石田 三喜 | 石田 雙碩 | 石澤 玉翠 | 石黒 柏葉 | 石黒 直子 | 石川 明加 | 石川 瑞峰 | 石川 瑞祥 | 石川 玄風 | 石川 敬子 | 石上 桃李 |
| 猪又 松峰 | 井上 春嶺 | 井上 紫水 | 井上 香苑 | 犬塚 玉陽 | 犬飼 游華 | 稲垣 雅彦 | 稲垣 竹徑 | 稲垣 紅春 | 稲垣 京子 | 伊奈 美峰 | 伊藤 芳華 | 伊藤 芳香 | 伊藤 文恵 | 伊藤 美泉 | 伊藤 美泉 | 伊藤 美扇 | 伊藤 梅香 | 伊藤 草華 | 伊藤 静春 | 伊藤 静雅 | 伊藤 翠芳 | 伊藤 翠香 | 伊藤 真葉 | 伊藤 新川 | 伊藤 小游 | 伊藤 昌郷 | 伊藤 昌園 | 伊藤 江麗 | 伊藤 虹川 |
| 江川 翠苑 | 梅村 鉄明 | 梅村 彩香 | 梅村 鶯谷 | 梅田 楊華 | 宇野 光峰 | 内山 紫泉 | 内本 久園 | 内田 翠徑 | 宇佐美匠香 | 鶴飼 清波 | 鶴飼 冠山 | 上松 早苗 | 上前 総子 | 植田 秀穂 | 植田 錦舟 | 岩田 緑汀 | 岩瀬 臘月 | 岩崎 澄秋 | 岩崎 史萌 | 岩越 勝園 | 岩城みつ代 | 岩井 榮華 | 入谷 霞流 | 今田 紅溪 | 今枝 節峰 | 今井 桃丘 | 今井 恭子 | 井深 春扇 |       |



〔一宮支部〕

令和三年十二月七日(火)

中日新聞一宮総局へ支部長川浦碧濤氏と支部次長橋本成良氏、吉田桃花氏が伺い、中日新聞社会事業団の、「年末助け合い運動に」と一宮総局長伊藤智英氏に十万円を寄託。



江口	澄翠	大河戸	柳光	太田	紫翠
江口	大濤	大崎	水愁	太田	浄泉
榎本	照乃	大畷	露光	太田	青華
遠藤	紫聖	大沢	真弓	太田	由香
塩谷	秀蘭	大鹿	珠翠	太田	游山
大江	峯子	大嶋由美子		太田	龍峰
大鐘	紫陽	大曾根弘風	大谷	素子	
大上	憧花	太田 偕風	大塚	窓月	
大川	澄泉	太田 佳香	大塚	裕子	

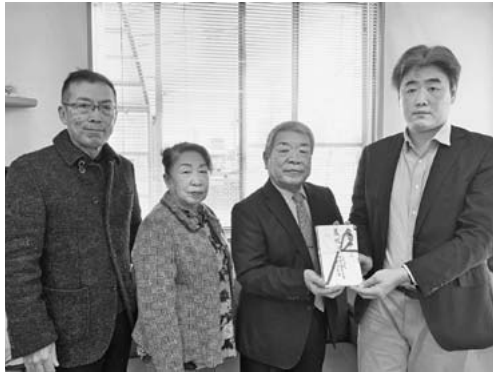
大野	樹抱	片岡	蘭芳	河合	醉光	國島	英華	小島	初美	笹本	汀風	清水	流香	鈴木	千恵	竹内	紫燕
大場	敏充	片原	秀園	河合	翠山	久納	竹景	小島	泰子	佐竹	得道	志村	舟泉	鈴木	凍山	竹内	清泉
大橋	南風	片山	紫雲	川浦	碧濤	熊崎	北咏	小谷	春苑	佐藤	華泉	志村	松琴	鈴木	美月	竹内	南里
大橋	幽徑	加地	孤握	川口	由美	倉内	秀佳	小寺	惠蘭	佐藤	寬山	志村	峯遠	鈴木	美都子	竹内	梅泉
大森	香鶴	勝海	芝香	川崎	清吟	倉内	翠羽	小寺	彩恵	佐藤	晨麗	下村	汀柳	鈴木	容華	武内	幽汀
岡田	恵鶴	加藤	永樵	河田	聖翠	倉科	清伶	後藤	香波	佐藤	水香	東海林	路子	鈴木	蘭峰	竹内	由美
岡田	恵香	加藤	花畦	河内	飛園	倉田	珪延	後藤	光飛	佐藤	清華	白井	景星	清水	美智子	竹田	景汀
岡田	翔鳳	加藤	月苑	河津	紫雪	倉田	滯碧	後藤	春洋	佐藤	桑碩	白井	美喜子	関戸	海越	武田	晶庭
緒方	津苑	加藤	秀慧	川出	泉麗	倉田	朝華	後藤	蘇月	佐藤	緑風	白木	紫香	関根	玉翠	武田	優璽
岡田	瑞雪	加藤	松雲	河原崎	坡青	倉橋	華仙	小林	玉芙	真田	九龍	白柳	ゆかり	関谷	蒼玄	武野	桂華
岡地	紅華	加藤	翠林	河村	喜汀	倉橋	高堂	小林	恵風	佐山	美楓	新海	峰永	瀬古	麗峰	武山	朝路
岡野	敬子	加藤	夕堤	川本	赫汀	倉橋	松容	小林	紅琳	沢井	鴻風	菅沼	貴香	瀬古	玉扇	田代	春苑
岡本	桃香	加藤	艸舟	川本	大幽	栗本	珠路	小林	祥鶴	澤田	琇川	杉浦	琇鈴	世古	口大虚	田代	青穗
小川	岳南	加藤	博子	神田	閩秀	厨	柳青	近藤	翠嶺	澤田	明琴	杉浦	仁美	仙石	祥香	館	由津
小川	琴風	加藤	碧涛	木澤	麗川	久留島	睦子	近藤	晴翠	三田	蕉葉	杉江	かよ子	高井	香園	巽	麗都
奥村	三葉	加藤	芳恵	岸田	松峰	榑林	春翠	近藤	青洮	三田	恵翠	杉田	節子	高井	東里	榑	青萌
奥村	碧洋	金澤	秀鴛	木島	静月	黒川	鵬霄	近藤	梅鶯	式守	白菽	杉本	京扇	高木	光風	田中	光穂
尾崎	紫光	可児	長望	北川	爽風	黒田	寿水	近藤	芳玉	篠田	祥濤	杉山	瓊川	高木	紫光	田中	幸江
尾澤	佳路	金丸	翠石	北野	春艸	黒野	芝香	近藤	瑶華	柴口	鶴泉	鈴木	雲峰	高木	清雲	田中	修文
尾関	楊花	上小倉	積山	北村	光苑	小池	玲翠	近藤	田紀枝	柴田	厚実	鈴木	雲峰	高桑	嚴風	田中	尚秀
落合	玉泉	神谷	光園	鬼頭	豊寧	小宇佐	久美	近藤	瑶華	柴田	華逕	鈴木	花園	高田	香坡	田中	千翠
小野	蹊泉	神谷	采邑	衣川	彰人	甲谷	富美子	近藤	千秋	柴田	玲甫	鈴木	華瑤	高田	牧香	田中	雅子
尾之内	柳雪	神谷	松扇	木村	霞月	河村	黄園	柴田	琴泉	柴間	秀瑤	鈴木	京楓	高橋	華堂	棚橋	一葉
小野田	景月	神谷	静苑	木村	明峰	香村	孤竹	酒井	光華	澁谷	鳴風	鈴木	香萩	高橋	寿香	谷	鴻風
小野田	美晴	神谷	素景	久徳	蓬香	小坂	克子	酒井	麗月	島田	楓林	鈴木	香萩	高橋	栖雲	谷	泉石
貝沼	春雨	神谷	小琴	清沢	華舟	小島	岐香	酒井	光華	志水	憬堂	鈴木	史鳳	高松	秀翠	谷口	琇苑
加古	松泉	亀山	雪峰	草野	洋子	小嶋	真海	酒瀬川	香風	志水	憬堂	鈴木	史鳳	高松	秀翠	谷口	琇苑
加古	仔春	川合	探星	葛谷	恵園	小嶋	雪舟	桜井	柳絮	清水	春蘭	鈴木	静香	滝本	白峰	谷口	大観
籠瀬	提花	河合	翠月	工藤	玉州	小嶋	千翠	佐々木	宏潤	清水	春蘭	鈴木	静香	滝本	白峰	谷口	大観
笠原	喜美江	河合	翠月	工藤	玉州	小嶋	千翠	佐々木	宏潤	清水	春蘭	鈴木	静香	滝本	白峰	谷口	大観

田村 泉舟 土屋 春聲 寺本 陽春  
 多和田墨濤 土屋 小苑 錦澤 澄江  
 千葉 晨翠 都築 心扇 戸崎 翠虹  
 中条 彰山 堤 光星 戸田 青楓  
 塚本 桃里 角田 和泉 戸松 紅翠  
 築山みなみ 坪井 白汀 外山 悠汀  
 辻 秀麗 鶴見 翠川 鳥居 竹泉  
 津田 松鶴 勅使河原恵翠 鳥居 柳城  
 土川 青翠 寺尾 桑林 内藤 春翠  
 土屋 香風 寺島 春恵 中井 港星

〔半田支部〕

令和三年十二月三日金

「年末助け合い運動に」と、山内江鶴支部長、平松采桂支部次長、杉江華城事務局長の三人で中日新聞半田支局へ伺い、「チャリティー愛の募金」十万円を支局長の北村剛史氏に寄託。



永井 青楓	西 恵香	羽田野江楓	日江井芝香	古川 花溪	松田 雅風	三輪 三麗	安田 雪篁	吉澤 劉石
永井 友理	西垣 美茜	波多野香葉	日比野寿翠	古川 侃司	松田 秋芳	三輪田香苑	吉田 一峰	
中尾 芝菜	西垣 梨雪	服部 華泉	日比野妃扇	古田 秀紅	松田 穂輝	箭野 翠風	吉田 香雪	
中川 貴舟	仁田脇京華	服部 春逕	平井三千代	古田 春華	松野下華清	村井 康山	吉田 光波	
中川 翔鶴	丹羽 春蘭	服部 青巒	平岩 美風	古田 祥扇	松原 紫園	村瀬 季舟	吉田 江楓	
中川 瑞玉	丹羽 茜麗	服部美枝子	平岡 妙紅	古田 清流	松本 紅雨	村瀬 竹風	吉田 清城	
中川 星光	丹羽 峰仙	花井 清水	平野 公鶴	星野 蘭雪	松元 彩華	村田 華泉	吉田 桃花	
中川 麗香	丹羽 裕	羽根 寿子	平野 公慎	堀田 恵香	丸山 聖峰	村田 光柊	吉田 美影	
永坂 抱月	野口 志園	早川 和子	平野 芳碩	堀田 花	三浦 景波	村田 籬香	吉原 愛璃	
中島 祥園	野田 佳楊	林 華泉	堀場 秀峰	堀部 保子	見神 恵峰	村松 紫雲	吉村 和子	
永瀨 紅蘭	野田 虹園	林 紫香	平松 圭鳳	堀部 保子	美希 昌風	毛利 暁草	吉村 美雪	
永瀨 珠香	野中 曾川	林 紫州	平松 心華	堀部 保子	三代 雄峯	毛利 恵風	吉村 峰燕	
野田 桂華	野々垣清城	林 秋芳	平光 朱扇	前田千登世	水田 珪華	望月 希彩	米田 匡陽	
野田 曉峰	野々村宜子	林 春翠	廣澤 光雪	前田奈津子	水田 美泉	元祐 秀蘭	若杉 美香	
野村 清涼	野村 清涼	林 如華	廣澤 光雪	牧 仙岳	水谷 天風	元橋 逸舟	若林 春麗	
野村 揚月	野村 清涼	林 大樹	廣澤 光雪	牧 仙岳	水谷 有志	物部 浩子	若山 峰瀧	
則武 穹	野村 清涼	林 柏堂	深田 芳香	増田 春暉	水野 泉美	桃井 祥谷	鷺津 岱嶺	
萩野 琴苑	萩野 琴苑	林 玲玉	深津 洋子	増田 蘭苑	水野 さと子	森 京華	鷺野 紫篁	
萩原 祐子	萩原 祐子	林 虎峰	深谷 恵庭	松井香代子	水野 美千	森 紅雀	渡辺 鶴山	
橋詰 桃邨	橋詰 桃邨	林 江郷	福岡 林泉	松井 秀麗	溝口 子静	森 翠葉	渡辺 慶心	
羽柴 苔谷	羽柴 苔谷	原 霞扇	福岡 有何	松浦 瑞月	溝口 純華	森 雪華	渡辺 月潭	
橋本 成良	橋本 成良	原 瑞芳	福田 徑揚	松崎 朱實	溝口 渺然	森 冬華	渡辺 悠記子	
長谷川華香	長谷川華香	原 圭竹	福田 ヒデ	松佐古溪水	光澤 閑石	森 政子	愛澤 珠翠	
長谷川恵玉	長谷川恵玉	原田 清尚	福谷 紅華	松澤 昂永	皆川 嗣恵	森 林華	愛澤 珠翠	
長谷川眞山	長谷川眞山	坂 九塔	福西 史呂	松下 鶴苑	三野島凌雲	森 久美	青木 美洲	
長谷川翠流	長谷川翠流	坂 博子	藤澤 映秀	松下 華邨	宮 希蓉	森 夏溪	青木 来夢	
長谷川鸞卿	長谷川鸞卿	坂野 小波	藤田 寒樹	松下 武義	三宅 杞璋	横井 静嘉	青山 和生	
秦 雪映	秦 雪映	坂野 渚月	藤原 郁代	松下 三雪	宮田 清風	八木 彩花	青山 佳白	
羽田野江楓	日江井芝香	古川 花溪	松田 雅風	三輪 三麗	安田 雪篁	吉澤 劉石		
波多野香葉	日比野寿翠	古川 侃司	松田 秋芳	三輪田香苑	箭野 翠風	吉田 香雪		
服部 華泉	日比野妃扇	古田 秀紅	松野下華清	村井 康山	吉田 光波			
服部 春逕	平井三千代	古田 春華	松原 紫園	村瀬 季舟	吉田 江楓			
服部 青巒	平岩 美風	古田 祥扇	松本 紅雨	村瀬 竹風	吉田 清城			
服部美枝子	平岡 妙紅	古田 清流	松元 彩華	村田 華泉	吉田 桃花			
花井 清水	平野 公鶴	星野 蘭雪	丸山 聖峰	村田 光柊	吉田 美影			
羽根 寿子	平野 公慎	堀田 恵香	三浦 景波	村田 籬香	吉原 愛璃			
早川 和子	平野 芳碩	堀田 花	見神 恵峰	村松 紫雲	吉村 和子			
林 華泉	堀場 秀峰	堀部 保子	美希 昌風	毛利 暁草	吉村 美雪			
林 紫香	平松 圭鳳	堀部 保子	三代 雄峯	毛利 恵風	吉村 峰燕			
林 紫州	平松 心華	堀部 保子	水田 珪華	望月 希彩	米田 匡陽			
林 秋芳	平光 朱扇	前田千登世	水田 美泉	元祐 秀蘭	若杉 美香			
林 春翠	廣澤 光雪	前田奈津子	水谷 天風	元橋 逸舟	若林 春麗			
林 如華	廣澤 光雪	牧 仙岳	水谷 有志	物部 浩子	若山 峰瀧			
林 大樹	廣澤 光雪	牧 仙岳	水野 泉美	桃井 祥谷	鷺津 岱嶺			
林 柏堂	深田 芳香	増田 春暉	水野 さと子	森 京華	鷺野 紫篁			
林 玲玉	深津 洋子	増田 蘭苑	水野 美千	森 紅雀	渡辺 鶴山			
林 虎峰	深谷 恵庭	松井香代子	溝口 子静	森 翠葉	渡辺 慶心			
林 江郷	福岡 林泉	松浦 瑞月	溝口 純華	森 雪華	渡辺 月潭			
林 霞扇	福岡 有何	松崎 朱實	溝口 渺然	森 冬華	渡辺 悠記子			
林 瑞芳	福田 徑揚	松佐古溪水	光澤 閑石	森 政子	愛澤 珠翠			
林 圭竹	福田 ヒデ	松澤 昂永	皆川 嗣恵	森 林華	愛澤 珠翠			
原 清尚	福谷 紅華	松澤 昂永	三野島凌雲	森 久美	青木 美洲			
原田 圭竹	福西 史呂	松下 鶴苑	宮 希蓉	森 夏溪	青木 来夢			
坂 九塔	藤澤 映秀	松下 華邨	三宅 杞璋	横井 静嘉	青山 和生			
坂野 小波	藤田 寒樹	松下 武義	宮田 清風	八木 彩花	青山 佳白			
坂野 渚月	藤原 郁代	松下 三雪	宮田 洋美	安田 翠嵐	吉澤 有岐子			
坂野 竹童	秦 雪映	坂野 渚月	坂野 竹童	夫馬 春園	松田 鶴鵬			
羽田野江楓	日江井芝香	古川 花溪	松田 雅風	三輪 三麗	安田 雪篁			
波多野香葉	日比野寿翠	古川 侃司	松田 秋芳	三輪田香苑	箭野 翠風			
服部 華泉	日比野妃扇	古田 秀紅	松野下華清	村井 康山	吉田 光波			
服部 春逕	平井三千代	古田 春華	松原 紫園	村瀬 季舟	吉田 江楓			
服部 青巒	平岩 美風	古田 祥扇	松本 紅雨	村瀬 竹風	吉田 清城			
服部美枝子	平岡 妙紅	古田 清流	松元 彩華	村田 華泉	吉田 桃花			
花井 清水	平野 公鶴	星野 蘭雪	丸山 聖峰	村田 光柊	吉田 美影			
羽根 寿子	平野 公慎	堀田 恵香	三浦 景波	村田 籬香	吉原 愛璃			
早川 和子	平野 芳碩	堀田 花	見神 恵峰	村松 紫雲	吉村 和子			
林 華泉	堀場 秀峰	堀部 保子	美希 昌風	毛利 暁草	吉村 美雪			
林 紫香	平松 圭鳳	堀部 保子	三代 雄峯	毛利 恵風	吉村 峰燕			
林 紫州	平松 心華	堀部 保子	水田 珪華	望月 希彩	米田 匡陽			
林 秋芳	平光 朱扇	前田千登世	水田 美泉	元祐 秀蘭	若杉 美香			
林 春翠	廣澤 光雪	前田奈津子	水谷 天風	元橋 逸舟	若林 春麗			
林 如華	廣澤 光雪	牧 仙岳	水谷 有志	物部 浩子	若山 峰瀧			
林 大樹	廣澤 光雪	牧 仙岳	水野 泉美	桃井 祥谷	鷺津 岱嶺			
林 柏堂	深田 芳香	増田 春暉	水野 さと子	森 京華	鷺野 紫篁			
林 玲玉	深津 洋子	増田 蘭苑	水野 美千	森 紅雀	渡辺 鶴山			
林 虎峰	深谷 恵庭	松井香代子	溝口 子静	森 翠葉	渡辺 慶心			
林 江郷	福岡 林泉	松浦 瑞月	溝口 純華	森 雪華	渡辺 月潭			
林 霞扇	福岡 有何	松崎 朱實	溝口 渺然	森 冬華	渡辺 悠記子			
林 瑞芳	福田 徑揚	松佐古溪水	光澤 閑石	森 政子	愛澤 珠翠			
林 圭竹	福田 ヒデ	松澤 昂永	皆川 嗣恵	森 林華	愛澤 珠翠			
原 清尚	福谷 紅華	松澤 昂永	三野島凌雲	森 久美	青木 美洲			
原田 圭竹	福西 史呂	松下 鶴苑	宮 希蓉	森 夏溪	青木 来夢			
坂 九塔	藤澤 映秀	松下 華邨	三宅 杞璋	横井 静嘉	青山 和生			
坂野 小波	藤田 寒樹	松下 武義	宮田 清風	八木 彩花	青山 佳白			
坂野 渚月	藤原 郁代	松下 三雪	宮田 洋美	安田 翠嵐	吉澤 有岐子			
坂野 竹童	秦 雪映	坂野 渚月	坂野 竹童	夫馬 春園	松田 鶴鵬			

縣	欣司	阿部	光泉	安藤	範香
秋田	清芳	阿部	ひろみ	安藤	美恵
浅井	花枝	新井	翠眉	安藤	幸恵
朝井	美玲	荒井	游舟	飯田	泰郷
浅川	都鷺	荒木	桃花	飯田	峰千
浅野	蛭雪	安藤	香波	伊神	薪水
浅野	清澄	安藤	早百合	池上	創
浅野	揺草	安藤	秀苑	池阪	圭月
東	瑶琴	安藤	昭亭	池田	絹子

〔西三河支部〕

「年末助け合いに」

中部日本書道会  
西三河支部寄託

中部日本書道会西三河支部(西尾市)の加藤松雲支部長(写真左)ら役員2人が8日、中日新聞岡崎支局を訪れ、中日新聞社会事業団の「年末助け合い運動」に10万円を寄託した。「チャリティー愛の募金」として支部会員らから寄せられた。



中日新聞 2021.12.9(木)

伊藤	彩秀	今井	翠柳	内山	雅舟	大野	馨泉	岡戸	保子	長田	裕華	片桐	千賀子	加藤	千冬	河合	秀苑
伊藤	紅葉	今井	春陽	内出	紅華	大野	瞬玲	岡田	容子	尾崎	涼舟	片岡	木蘭	加藤	碩望	粥川	緋音
伊藤	紅彩	今井	金子	内田	勢潭	大野	光葉	岡田	真澄	尾崎	美恵子	片岡	桂苑	加藤	春溪	神谷	芳翠
伊藤	恵子	伊吹	紅鳳	内田	晃州	大野	紀舟	岡田	志保	小倉	壽子	片岡	芳苑	加藤	紫雲	神村	瑤春
伊藤	鳳珠	井上	三保子	内田	臯月	大西	影慕	岡田	愛子	奥村	八重子	粕谷	芳翠	加藤	紫雲	神村	瑤春
伊藤	英美	井野	華水	内川	昌子	大西	影慕	岡田	愛子	奥村	恵美子	梶川	美穂子	加藤	湖舟	金倉	あゆみ
伊藤	文野	犬塚	八重	白井	和舟	大塚	菖苑	岡島	淡雪	奥村	恵美子	笠松	紫芳	加藤	珪風	加藤	芳司
市橋	文親	犬飼	美晴	白井	桃園	大谷	蕙苑	岡	幸秀	奥野	鶴扇	笠松	紫芳	加藤	珪風	加藤	芳司
市川	兼正	稲吉	小夜子	宇佐	美待月	大武	英子	大山	雅峰	奥田	光子	鏡	千裕	加藤	玉華	加藤	芳枝
板倉	虹華	稲吉	邦子	上野	明美	大高	麻利子	大藪	翠園	小川	落桜	小野	田晃志	加藤	杏華	加藤	満寿江
板倉	香淵	稲村	洋春	上田	馨星	太田	翠香	大矢	大月	小川	裕子	小野	由紀子	加藤	喜峰	加藤	浩子
磯村	小園	稲垣	舞夏	上島	杏苑	太田	紫紅	大平	貴子	小川	順子	尾野	聴石	加藤	貴咲	加藤	眉翠
磯谷	明舟	稲垣	輝彩	岩本	麗泉	大鹿	恵華	大野	蘭香	岡本	裕鼎	小澤	翠嵐	加藤	敦美	加藤	孝子
磯貝	みえ子	稲垣	輝彩	岩本	湛山	大澤	雅舟	大野	彩	岡本	芝苑	納村	翠玉	加藤	香月	加藤	苔苑
石原	久義	伊藤	蘭香	岩場	恵子	大河	内淳風	大野	彩	岡本	芝苑	納村	翠玉	加藤	香月	加藤	苔苑
石原	千砂子	伊藤	蘭徑	岩田	純子	大久保	春鼎	大野	蘭香	岡本	裕鼎	小澤	翠嵐	加藤	滋紅	加藤	大然
石原	宗久	伊藤	弥生	岩田	浩泉	大鐘	智美未	大野	蘭香	岡本	裕鼎	小澤	翠嵐	加藤	敦美	加藤	孝子
石橋	遊貴	伊藤	久子	岩田	香翠	大石	窓雪	大野	彩	岡本	芝苑	納村	翠玉	加藤	香月	加藤	苔苑
石塚	弘子	伊藤	紀子	岩田	永慎	種田	主鳳	大野	彩	岡本	芝苑	納村	翠玉	加藤	香月	加藤	苔苑
石田	李舟	伊藤	清川	岩瀬	八恵子	榎本	翠峰	大野	彩	岡本	芝苑	納村	翠玉	加藤	香月	加藤	苔苑
石田	茜華	伊藤	静香	岩瀬	房子	榎田	瓊翠	大野	蘭香	岡本	裕鼎	小澤	翠嵐	加藤	敦美	加藤	孝子
石倉	桜舟	伊藤	青慶	岩瀬	祥苑	江崎	婦沙子	大野	蘭香	岡本	裕鼎	小澤	翠嵐	加藤	敦美	加藤	孝子
石川	麗香	伊藤	祥子	岩崎	翠風	江口	幽岳	大野	蘭香	岡本	裕鼎	小澤	翠嵐	加藤	敦美	加藤	孝子
石川	裕里加	伊藤	春翠	井本	千游	梅村	香苑	大野	蘭香	岡本	裕鼎	小澤	翠嵐	加藤	敦美	加藤	孝子
石川	桃露	伊藤	秀英	今村	禎邨	馬場	春蘭	大野	蘭香	岡本	裕鼎	小澤	翠嵐	加藤	敦美	加藤	孝子
石川	彩香	伊藤	紫鳳	今村	寿鴻	宇野	央子	大野	蘭香	岡本	裕鼎	小澤	翠嵐	加藤	敦美	加藤	孝子
井桁	翠咲	伊藤	茂	今西	道子	采女	紅楓	大野	蘭香	岡本	裕鼎	小澤	翠嵐	加藤	敦美	加藤	孝子

〔東三河支部〕

年末助け合い義援金



10万円を寄託

中部日本書道会東三河

中部日本書道会東三河支部は30日、中日新聞社会事業団の「年末助け合い運動」に会員からの寄付で集まった10万円を寄託した。支部長の村井康山さんと次長の山川孝子さん、皆川



嗣恵さんの3人が中日新聞豊橋総局を訪れ、伊東誠総局長に渡した。写真。

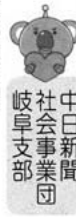
中日新聞 2021.12.1(木)



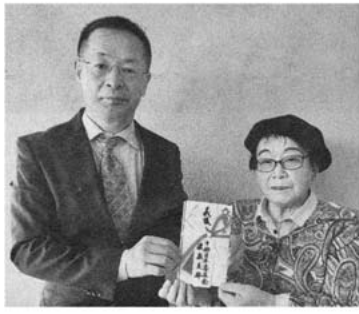
川合 碩山	川本 青杧	金原 恭江	栗本 清芳	近藤 瑛月	三野美恵子	杉本 扇鈴	高島 濤翠	塚本 玉琇
河合 澄香	神田 醉月	久世たか子	栗山 幽香	近藤 香月	塩野谷厚志	杉山 恵子	高須 紅竹	辻村 幸玉
川北 博子	神戸 春谷	杵名 典子	黒岩 翠華	近藤 清月	宍戸 春月	杉山 松雅	高瀬 江舟	角田登美子
川口 花園	神戸 笙詩	國廣 寿仙	黒柳 知里	近藤 星蘭	志知 隆道	杉山千鶴子	高津 朱美	坪井 揖溪
川口 芳雲	岸川 天翠	九野 恭葩	小石 順	近藤 芳玉	志津野穂夏	杉山 秀夫	高槻 和子	坪井 英哲
川澄 良子	貴島 小舟	久野 生麗	小泉 路子	近藤 嘉江	篠田 瑞芳	鈴木 和子	高橋 江翠	坪山 香泉
川瀬 実咲	岸本 紫翠	久保田香穂	小出 和香	近藤 玲翠	篠原 久祥	鈴木 和代	高橋 翠葉	鶴口 夏菜
川村 鶴堂	北浦 千鶴	熊谷 弦謡	郷 瑤春	斎藤 矧川	柴田恵美子	鈴木 京子	高橋千代子	鶴見 香翠
河村 一雄	北村 玉鳳	熊崎 香苑	甲谷 千樹	斎藤 清川	柴田 恵子	鈴木 香葉	高松 彩月	鶴見 蒼雲
河村 典子	木野瀬陽光	久米 水聲	香ノ木茜苑	酒井 悠泉	柴田 瑞香	鈴木 祥翠	滝本 柳烟	寺尾 青波
河村 美翠	木俣 紫邑	倉田 果苑	鴻巣 玉兔	榊原 洗苑	澁谷 弘峯	鈴木 眞壽	竹内 翠邱	寺尾 洌
河村 友紀	木村 輝扇	倉知 葉舟	古賀野源太郎	阪田 華香	清水 愛苑	鈴木 青華	竹内 敏夫	寺岡 春蘭
川村有紀奈	木村 和象	栗木 美楓	小澤 松煙	阪田 華香	清水 愛苑	鈴木 青華	竹内 敏夫	寺岡 春蘭

〔濃飛支部〕

年末助け合い義援金



▼中部日本書道会濃飛支部 10万円。支部長の三野島凌雲さん、写真左と支部次長の中垣幸声さん、同右が会員から寄せられた義援金を届けた。



中日新聞 2021.12.10(金)

近藤 明彦	小山 峯雲	古家野弥生	子安 杏庭	小松 翠篁	小松 月泉	小林 洋子	小林 千鶴	小早川恵祥	小西 美紀	後藤 柳月	後藤 蘭徑	後藤 智明	小島 大立	小島 瑞香	小島 湖山	小島 華扇	桜井 光雲	清水 由美	鈴木 誠人	鈴木 美峰	竹下 正樹	寺田 雅彦	寺田 祐峰	寺田 茂子	土井 秀栖	藤堂 弘風	遠山 翔雅	遠山 正幸	鳥居 柳清	中島 千草	中野 照子
佐橋 爽翠	佐野 麦静	佐藤 芳泉	佐藤 典子	佐藤 桃華	佐藤 敬頭	佐藤 彩柳	佐藤 幸泉	佐藤 恵順	佐藤 恵園	佐藤 悦子	笹本 菜月	笹本 都和	佐々木博山	佐々木汀安	櫻井 春香	清水 光雲	清水 由美	鈴木 誠人	鈴木 美峰	竹下 正樹	寺田 雅彦	寺田 祐峰	寺田 茂子	土井 秀栖	藤堂 弘風	遠山 翔雅	遠山 正幸	鳥居 柳清	中島 千草	中野 照子	
杉本 錦楊	杉村 友香	杉田 樹石	杉浦 陽	杉浦 芳純	杉浦 芳苑	杉浦とし子	杉浦 幸子	杉浦 薫水	陣内 華苑	白井 美翠	庄野 照香	正徳 李泉	下村 佳風	志村 玲香	清水 由美	鈴木 誠人	鈴木 美峰	竹下 正樹	寺田 雅彦	寺田 祐峰	寺田 茂子	土井 秀栖	藤堂 弘風	遠山 翔雅	遠山 正幸	鳥居 柳清	中島 千草	中野 照子			
高木 愛子	平 富耀	千田 光麗	瀬邊 風馬	瀬古 光代	関村 吟香	関 翠虹	関 春香	隅田 玉枝	須田 白城	須田 静波	鈴木 藍光	鈴木 裕子	鈴木 明蓬	鈴木 誠人	鈴木 美峰	竹下 正樹	寺田 雅彦	寺田 祐峰	寺田 茂子	土井 秀栖	藤堂 弘風	遠山 翔雅	遠山 正幸	鳥居 柳清	中島 千草	中野 照子					
千葉 弘子	田宮 佑至	玉田 桃苑	谷田 青崖	谷川 花影	谷 順子	田中 美香	田中 春華	田中 彩鵬	田中 彩花	田中 江雨	田中 恵綾	帯刀 桜花	田澤 溪石	竹本 景鳳	竹下 正樹	寺田 雅彦	寺田 祐峰	寺田 茂子	土井 秀栖	藤堂 弘風	遠山 翔雅	遠山 正幸	鳥居 柳清	中島 千草	中野 照子						
豊田 翠香	豊田 霞汀	豊嶋 青岑	富永 晴美	富田 朝煙	富田 梢峰	戸田 翠逕	徳倉 禾風	梅野 春美	遠山 柳恵	遠山 正幸	遠山 翔雅	藤堂 弘風	土井 秀栖	寺田 茂子	寺田 祐峰	寺田 茂子	土井 秀栖	藤堂 弘風	遠山 翔雅	遠山 正幸	鳥居 柳清	中島 千草	中野 照子								
長澤 美峰	中川 玲波	中川 美翠	中川 瑞風	中川 翠山	中垣 幸聲	長尾 珠泉	長江 毬華	永井 静景	鳥居 玉瑛	中島 千里	中野 和陽	長瀬 竜清	中田 菊香	長畑 清楓	中野 照子																
中野 聲石	中野 秋石	中野 滋	長野 榮信	中根 翠榮	中西 伸江	永田 正毅	中田 菊香	長畑 清楓	中野 和陽	長瀬 竜清	中田 菊香	長畑 清楓	中野 照子																		
夏目 美沙	夏目 京山	中山 芳泉	中村 彩香	中村 紅苑	中村 蕙風	中野 照子																									

〔北勢支部〕

令和三年十二月七日(火)

中日新聞四日市支局へ伊藤艸亭支部長と高橋華堂支部次長が伺い、「年末助け合い運動に」と会員の皆様から寄せられた「愛の募金」より十万円を岩佐和也支局長に寄託しました。



2021.12.07.11

〔中南勢支部〕

中南勢支部は、十二月七日、支部長谷鴻風と会計松田香雨が、中日新聞三重総局を訪問させていただき、年末助け合い運動の義援金として十万円を総局長に寄託いたしました。



〔四日市市〕匿名 45万円▽中部日本書道会北勢支部 10万円  
〔津市〕中部日本書道会中南勢支部 10万円



成田 尚子 新津 美泉  
鳴川 翠月 西尾 雅子  
成瀬 伸芳 西川 樹頼

長谷川鳳声	坂 霞汀	藤原 明子	松居 玉華	緑川 香玉	森山 溪花	山中みね子	吉田 鏡華
長谷川春汀	原田 峰葉	藤村 瓊香	松井 雲海	三井 恵子	守永 藍麗	山田 美咲	吉川 桃香
長谷川秋峯	原田 葵泉	藤戸 絢春	町田 清芳	溝口 春華	森下 美影	山田 清翠	吉川 珠翠
長谷川治光	原田 賀代	藤田 孝雲	柘田 蘭香	水野 百花	森下 千翠	山田 真如	吉兼 理樹
橋本 佳静	原 香風	藤木 秀華	増井 希	水谷 鳳月	森岡 英子	山田 西寧	横田 杏歌
野村 樹恵	林田かほる	藤井 和彦	牧野 瑞風	水谷 静香	森 真由美	山田 光芳	横江 昌峰
野村 繁子	林 由美	福山 恵山	牧野 秋陽	水谷 サト子	森 富華	山田 和子	山本 瑶華
信安 青嶺	林 柏亭	福森 逢年	前野 秋豊	水谷 廣風	森 環翠	山崎 春枝	山本 種子
野々川翠扇	林 孝湖	福原 秋冷	前野 英子	水谷 玉汀	室賀 芳艶	山口 典子	山本 双剣
野々垣煌玉	林 泰伯	福島 翠苑	本多 蘭香	水谷 君代	村山 菖苑	山口 如泉	山本 小谿
野田千津子	林 翠竹	福應 節子	本田 吉華	水越 鈴雪	村松 裕子	山口 翠螢	山之内春洋
野田 翠香	林 尚志	福井 笙耀	堀田 孝子	三沢 桃紅	村知 清蘭	山口 鈴代	山村 千秋
野田 江泉	林 皓月	深谷 紅蘭	堀 美洲	御崎 勳城	村田 麗水	山口 翠螢	山之内春洋
野田 花翠	林 溪舟	廣野 陽風	堀 清溪	三浦 節子	村田 華雪	山口 紅鶴	山口 如泉
野尻 紀子	林 華静	廣瀬 玉樹	堀 春陽	三浦 玉泉	村瀬 碧陽	山口 光華	山口 含烟
野杖 怜光	林 華香	平松千代子	洞 英翠	真野 桃華	村瀬 貴水	山口 晶子	山口 晶子
根谷 捷子	早川 緑園	平松 和子	穂積 清華	松本 春楊	村上 澄映	山川 節子	山川 節子
根津 郷巴	浜野 春瑛	平松 明子	堀田 智洋	松原 春楊	村上 誠香	山内 清華	山内 清華
庭田 静苑	馬場 紅雲	平野 遊古	星野 律花	松原 楽朋	三輪 蘇生	山内 昂波	矢吹 喜泉
丹羽 碧洋	花井 里苑	平澤 雲香	星野 仙燁	松永 紫豊	三輪 彩光	柳瀬 緑風	柳瀬 緑風
丹羽 博美	花井 蘭徑	平川 彩舟	星川 朝香	松田 典子	宮部政代美	梁川 美舟	梁川 美舟
丹羽 岳代	花井 麦雲	平井 祐里	寶満 祥子	松田 香雨	宮地八千代	安田 由琳	安田 春麗
西脇 聖園	花井 志翠	平井 華泉	紅谷 碧水	松岡 蘭毫	宮崎 帆舟	安田 春麗	安田 春麗
西山 美翔	服部 和子	日比野汀華	古山 玉扇	松岡 瓊玉	宮崎 弘園	安田 春麗	安田 春麗
西脇 和子	服部 瑞花	樋口 白扇	古橋 勝櫻	松岡 翠苑	宮崎 清峰	八木 清峭	八木 清峭
西川 佳江	服部 修江	日置 康苑	古橋 紀風	松枝 華雪	宮尾 貴子	諸富 瑞青	諸富 瑞青
西川 晴江	服部 和子	半谷 恵風	船橋 幽泉	松浦 華雪	源口 貴子	皆川 光	皆川 光
西川 允子	波多野朱芳	坂野 幸子	舟橋 風苑	皆川 光	源口 貴子	皆川 光	皆川 光

〔岐阜支部〕



〔岐阜支社〕  
▼中部日本書道会岐阜支部 10万円。会員から集まった義援金を支部長の今田紅溪さん⇒写真左と事務局担当の鈴木蘭峰さん⇒同右が届けた



中日新聞 2021.12.7(火)

(二月六日(木)本部確認分)

# 第72回 中日書きぞめ展

会期 令和4年3月12日(土)～3月13日(日)

会場 ナディアパーク2階 アトリウム 名古屋市中区栄三丁目18-1

授賞式 令和4年3月13日(日) 午後2時 ナディアパーク 3階 デザインホール

## 書道教室推薦看板申請制度のご案内

本会では、書の勉強を希望する人々のために、また書道の優れた指導者を、広く一般の人々に紹介することを目的として書道教室等の推薦制度を実施いたしております。

この制度は、書道教室を経営する会員の先生方を側面よりバックアップするもので、教室または指導者に対して推薦証と推薦看板をひと組として、希望される会員に有料で交付するものであります。(左記参照)

交付にあたっては、この制度の内容から、誰にでも無条件というわけにはまいりません。

資格者は本会の正会員です。

ただし、準会員の方は、中日展に出品されている方及び本会が主催する書道教育研修会を受講された方に限ります。

記

○書道教室推薦証等交付申請書 一通  
(申請書は本部へご請求下さい)

○推薦証(別記)

○推薦看板(写真)

○アクリル製、巾15cm×長さ60cm、指導者名を記入いたします。

○申込資格

○本会正会員及び

選考会で認められた準会員

○推薦手数料 二五、〇〇〇円

(承認後ご連絡)

絡いたします

ので振替用紙

にてお振込み

下さい。

担当 教育部

### 公益社団法人 中部日本書道会推薦教室

指導者 ●●●●●

第 号

年月日

公益社団法人 中部日本書道会

### 推薦証

右の者は書道並に書写教育の優れた指導者として認められるのでここに推薦する

### 中部日本書道会書道教室 推薦証等交付申請書

令和 年 月 日

公益社団法人 中部日本書道会理事長 殿

申請者 住所 氏名 (姓名) (電話番号 - - )

下記の通り書道教室等の推薦を受けたいので、手数料を添えて申請します。

教室名	
教室住所	〒
ふりがな	
指導者名 (申請者名)	中日書道展 格 賞
備考	

(注) 指導者の書歴は裏面のとおりです

受付年月日 令和 年 月 日  
交付年月日 令和 年 月 日  
交付番号

※ご質問等は本部事務局迄連絡下さい。

## 会費未納の方へお願い

年度末も間近となつてまいりました。令和三年度会費未納の方は、至急お納め下さい。(正会員で中日書道展不出品の方及び準会員の方で未納の方)本部会員は、郵便振替 00890-6-14420。支部会員は、各支部会計担当者にご連絡下さい。

住所変更、改姓、改号、社中変更等変更事項は本部までご一報下さい。

052(583)1900

ホームページアドレス <http://www.cn-sho.or.jp>

メールアドレス [info@cn-sho.or.jp](mailto:info@cn-sho.or.jp)

(編集部)

### あとがき

明けましておめでとつございます。令和四年の新年号、第二〇三号をお届け致します。常任顧問・伊藤昌石先生の愛知県教育文化功労者表彰、おめでとつございました。新年にお慶びのご報告が出来ました。昨年、コロナ禍の中ではありましたが、第七十回記念中日書道展に続き、書道教育研修、書の匠展・寿展、公開講座の各事業も滞りなく終えることが出来ました。また、皆様からの「チャリティー愛の募金」の報告も併せて掲載しております。そして、第七十一回中日書道展の詳細も決まりました。ご一読下さい。本年も宜しくお願いいたします。前理事長・関根玉振先生の急逝に哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

### 訃報

心より哀悼の意を表し、ご報告申し上げます。(厚生部)

○10月3日 評議員 本田秀岳氏 享年91

○10月9日 評議員 森 京華氏 享年86

○10月29日 正会員 水野昌花氏 享年63

○11月9日 常任顧問 関根玉振氏 享年73

○12月20日 名誉顧問 東海テレビ放送株式会社 内田 優氏 享年71

事後報告 ○9月15日 参 与 天野勢子氏 享年94

※八月号訃報に於いて、お名前に誤りが有りました。お詫びして訂正致します。協賛会員 (有)加藍 誤・安藤亨廣氏 正・安藤亨廣氏